

一般財団法人国民公園協会へのヒアリング 議事概要

1. 日時：令和 5 年 6 月 9 日（金）16:00～17:00

2. 場所：科学技術館 第 3 会議室

3. 出席者：

（検討会委員 ※50音順・敬称略）

岸 井 隆 幸（一般財団法人計量計画研究所 代表理事）

鈴 木 誠（東京農業大学名誉教授）

鳥 居 敏 男（一般財団法人自然公園財団 専務理事）

西 村 幸 夫（國學院大學観光まちづくり学部 学部長）座長

林 良 博（独立行政法人国立科学博物館 顧問）

（環境省）

細川真宏総務課長、曾宮和夫国民公園室長、中村邦彦皇居外苑管理事務所長、長谷川学皇
居外苑管理事務所北の丸分室長

4. 議事概要

（1）開会・あいさつ

○開会あいさつ（細川総務課長）

（2）ヒアリング

○国民公園協会からヒアリング資料に基づき、説明

【西村座長】

- ・ ヒアリング資料 8 ページ目に「（要望 1）イベント開催の許可条件の緩和（柔軟化）」とあるが、現在の許可条件はどのようなもので、何が課題なのか。
- ・ ヒアリング資料 4 ページ目「飲食等利用サービスの提供」について、皇居外苑全体の収益の中で、北の丸公園の収益はどの程度なのか。

→〔国民公園協会〕

- ・ 例えば第 3 駐車場では、東京都や千代田区の消防訓練の利用しか認められていないという実態がある。企画内容を精査した上で、イベント等の開催を許可して欲しい。

- ・ これまでは皇居外苑の収益の多くが楠公レストハウスによるものであり、北の丸レストハウスは少なかった。ただ、2022年からは、北の丸レストハウスにて民間事業者との提携が始まり、増収が見込まれている。

→〔事務局〕

- ・ 施設の貸出やイベント開催は閣議による制約があり、国家的行事や消防出初式等以外は認められていないという現況である。

【岸井委員】

- ・ 障がい者用駐車スペースは、各駐車場にどの程度あるか。
- ・ 駐車場利用者の目的の内訳は調査されているか。
- ・ 駐車台数の日変動が分かると良い。
- ・ 北の丸公園の駐車場を利用して皇居東御苑に行く乗用車利用者の数が知りたい。
- ・ 国民公園協会と科学技術館との関係や連携状況はどうか。
- ・ 今回は国民公園協会 1 団体のヒアリングだったが、今後より多くの関連施設にヒアリングを行うのか。

→〔国民公園協会〕

- ・ 障がい者用駐車スペースは、第 1・2 駐車場に三台分ずつ、第 3 駐車場に六台分ある。
- ・ 駐車場利用者の主な目的は公園利用である。また、武道館のイベント参加者や科学技術館の社会科見学者にも多く利用されている。駐車台数が少なくなってきたため、2020年頃から他施設の利用用途でも受け入れるようにした。
- ・ 駐車台数については、具体的な数値が手元にないため、必要があれば改めて提出したい。
- ・ バスで科学技術館に来館した利用者が皇居東御苑にも移動していることは認識しているが、乗用車で北の丸公園に来園した利用者の皇居東御苑への移動量は把握していない。後で分かれば提示したい。
- ・ 国民公園協会は基本的に公園の維持管理のための組織で、科学技術館との連携の体制は取られていない。ただ、駐車場の利用については、科学技術館から社会科見学等のバスの受け入れについて相談を受け、駐車スペースの調整等を行っている。その他、科学技術館が北の丸公園でイベントを行う場合は、環境省を通じて国民公園協会に相談がある。

→〔事務局〕

- ・ 第 2 回検討会でも施設のヒアリングを予定しているが、時間的な制約もあり、検討会の場で全ての施設にヒアリングすることは難しいため、アンケートの実施等も考慮しながら情報提供していきたい。

【林委員】

- ・ 植栽はかなり丁寧に手入れされている印象を受けた。特に、コケが見える場所は外国人が好むため、インバウンド的にも重要であると思う。ただ、科学技術館に近いところにあるコケは踏み荒らされた跡があった。北の丸公園は、明治神宮の自然に近い環境と日比谷公園の人工的な公園環境の中間に位置付けられると思う。植栽管理もそのような位置付けの下で考え、重点的に整備、保全していく箇所を定めた植栽管理計画等を作ってほしい。
- ・ 利用者の増加を図る上で、例えば科学技術館のエレベーターは狭く、全体的な造りも昔の建物の印象を受ける。公園内のトイレの個数は足りているが、それぞれの穴数は昔の基準のままとなっている。トイレ整備は、施設整備において一番重要であると思う。標識は、多言語化表記されたものが見られる一方で、日本語のみの立て看板がまだ残っていた。今後、対応する計画が進んでいるか。
- ・ 北の丸公園の利用拡大を図る方針については賛成である。また、今後見込まれるインバウンド利用への対応として、国民公園協会が行っているポケットーク等の取組は良いと思う。後は、どの程度の集客を見込んでいるか。
- ・ 顧問をしている国立科学博物館の電気代が昨年度の倍以上になった。そのような維持管理費の増大に伴い、北の丸公園においても国の予算だけでは利用拡大のスピードに追い付かないと思う。例えば、クラウドファンディング等の実施は考えているのか。
- ・ ガイドボランティアへの交通費や昼食代の支給、北の丸レストハウスの割引券の発行等は行っているか。

→〔国民公園協会〕

- ・ 植栽の手入れについては、環境省から示された日常管理基準に基づいて行っている。重点的な整備等の計画については、環境省と相談しながら検討していきたい。
- ・ ガイドボランティアには交通費、昼食代（1000円）を支給している。

→〔事務局〕

- ・ 施設の老朽化が深刻であるが、予算が厳しいため、今年度からはベンチ等の改修を行う等、段階的な更新をしていく。その後は予算要求を続けながら、指摘のあったトイレ等の整備を検討していく。
- ・ インバウンド需要による利用拡大に先立ち、北の丸公園だけでなく国民公園全体で、現況の利用者について把握していきたいと考えている。北の丸公園の利用者増加の見込みについては、次回以降の検討会で関連施設にヒアリングを行う予定である。

- ・ 北の丸公園の直轄施設をクラウドファンディングの直接的な資金調達の対象とするのは難しく、現時点では考えていない。どのような方法が可能か、今後検討を進めていく。

【鈴木委員】

- ・ ヒアリング資料8ページ目「（要望1）イベント開催の許可条件の緩和（柔軟化）」について、第1回検討会で駐車場が公園に占める面積が大きいことが課題であると指摘したが、その広い駐車場を利用したイベントを行いたいとする国民公園協会の要望はもっともである。日本全国の城址公園の例を見ても、サクラや紅葉の時期のイベントは、集客数や収益を上げ、収益を維持管理費に充てるために重要である。江戸時代の石垣とサクラがある北の丸公園も、城址公園に倣ってさくら祭りを開催したら良いと思う。
- ・ 「清水門広場」とあるが、広場的な利用を意図しているのか。ただ、この場所でのイベント開催は、清水門からの歴史的な価値を守るため反対である。

→〔国民公園協会〕

- ・ 「清水門広場」は正式名称ではなく協会側の認識であり、トイレやパーゴラ等も設置されているため、広場的な活用が出来ないかという提案である。

【鳥居委員】

- ・ 東京都による災害時の避難場所の指定について、具体的にどこが指定されているのか。また、災害時の備蓄等は公園内にあるか。
- ・ 駐車場に電気自動車の充電場所は確保されているか。
- ・ ガイドボランティアは13名と記述されているが、少ないように思う。年齢構成及び団体活動についての今後の方向性を教えて欲しい。
- ・ ヒアリング資料9ページ目「（要望3）公園施設の改修」については、視察でもベンチ等の老朽化が確認できたため、必要である。

→〔国民公園協会〕

- ・ 13名いるガイドボランティアの年齢構成は、60歳以上と高齢化している。一時期は28名だったが、現在は徐々に減少している。希望者がいれば、研修等を行い増員に努めたい。

→〔事務局〕

- ・ 大規模地震災害時又は警戒宣言時における応急対策活動に関する協定を千代田区と結んでおり、皇居前広場と北の丸公園を帰宅困難者一時退避場所として利用することとなっている。北の丸公園は緊急ヘリコプターの着陸場所にもなっており、防災無線等配置も行っている。備蓄は北の丸公園ではなく、皇居外苑にある。
- ・ 電気自動車の充電場所は現在設置できていないが、今後検討していきたい。

(3) 今後のスケジュール

○事務局から説明（曽宮国民公園室長）